



あなたにとって、「卒業」の意味は？

3年生にとっては、中学最後となる週が始まりました。公立高校の一般入試、そして卒業式にのぞむ心構えはできていますか。1・2年生も、今まさに旅立とうとしている3年生の姿を、しっかり目に焼きつけておいてほしいと思います。

ところで、改めて「卒業」という言葉を手元の辞書で調べてみました。

そつぎょう【卒業】

- ①定められた課程を学び終え、その学校を去ること。「～式・～論文」
- ②ある段階を体験して通り過ぎること。「もうテレビゲームは～した」

一般的には、まず形式的な意味(①)が頭に浮かびますが、同時に内容的な面(②)からも、今週は人生の一つの節目となることでしょう。そういう意味では、学年を締めくくろうとしているこの時期は、卒業生に限らず在校生にとっても、「卒業」の意味合いがあるのかもしれない。

皆さん一人一人にとっての「卒業」は、どんな意味をもっていますか。

この時期の皆さんに贈りたい言葉を、名言集や歌詞から選んでみました。自分にとっての「卒業」の意味を考える上で、何かのヒントになればうれしいです。

名言集から

- ・「物語はここから始まる」手塚治虫(漫画家、医学博士/1928~1989)
- ・「一生勉強 一生青春」相田みつを(詩人、書家/1924~1991)
- ・「一番いけないのは、自分なんかダメだと、思い込むことだよ」(野比のび太)
- ・「目が前についてるのはなぜだと思う？ 前へ前へと進むためだ！」(ドラえもん)

歌詞から

ワンピース欠けちゃったら
完成しないジグソーパズルのように
俺たちのキズナは最強のストーリーになる

変わっていこうぜ
やりたいことは自分で見つけるのさ
笑っていようぜ
俺たちは俺たちを卒業しないから

大原櫻子「卒業」より

サヨナラを振り向くな
追いかけてもしょうがない
思い出は 今いる場所に置いて行こうよ

終わることためらって
人は皆立ち止まるけど
僕たちは抱き合ってた腕を離して
もっと強くなる

乃木坂46「サヨナラの意味」より

ちょっとしたことだけど…心温まる諺中生 続出!

●清掃と帰りの会の間の時間、私が不要な段ボールを運んでいると、目の前を通りかかった二人の男子が、私に気づくや否やくるっと方向転換し、「僕たちが持ちます！」(とてもさわやかな態度)と、倉庫まで運んでくれました。人の役に立つ喜びを知っている2年生を、頼もしく感じました。

●授業中にプリントを配るとき、枚数を間違ってしまうことがあります。先日、「1枚足りません」と取りに来てくれた3年生が、列の中ほどの人だったことに心温まりました。
途中で足りないことに気づき、先に後ろの人に送り、自分は後回しにして取りに来てくれたのです。